報道資料

くらしの中に
総務省
MIC Ministry of Internal Affairs and Communications

令和６年 11 月５日
消　　防　　庁

令和６年秋季全国火災予防運動の実施

令和６年 11 月９日（土）から 11 月 15 日（金）まで
令和６年秋季全国火災予防運動が全国各地で実施されます。

１　目的

この運動は、火災が発生しやすい時季を迎えるに当たり、火災予防思想の一層の普及を図り、もって火災の発生を防止し、高齢者を中心とする死者の発生を減少させるとともに、財産の損失を防ぐことを目的としています。

全国の火災の状況をみると、住宅火災の件数は平成 17 年以降減少を続け、令和２年に初めて１万件/年を下回ったものの、令和３年からは再び増加傾向にあり、死者数についても、増加傾向が続いています。

また、令和６年能登半島地震では、石川県輪島市において、焼損棟数約 240 棟、焼失面積約 49,000 ㎡という大規模な火災が発生しました。本火災の教訓を踏まえ、地震火災対策の推進が喫緊の課題となっています。

特に、近年の大規模地震においては、電気に起因する火災が多く発生していることから、地震時の電気火災リスクを低減するため、感震ブレーカー等の普及推進を加速する必要があります。

このような状況を踏まえ、以下２及び３の項目を中心として火災対策の推進を図ります。

２　重点推進項目

⑴　地震火災対策の推進
⑵　住宅防火対策の推進

３　推進項目

⑴　防火対象物等における防火安全対策の徹底
⑵　製品火災の発生防止に向けた取組みの推進
⑶　多数の者が集合する催しに対する火災予防指導等の徹底
⑷　乾燥時及び強風時の火災発生防止対策の推進
⑸　木造飲食店等が密集する地域に対する火災予防指導等の徹底
⑹　放火火災防止対策の推進

４　実施期間

令和６年 11 月９日（土）～11 月 15 日（金）（※一部地域を除く）

５　その他

消防本部等では、参考資料１を踏まえて運動を展開し、参考資料２を住宅火災に関する資料として、参考資料３～７を広報活動用資料として活用することとしています。

これらの資料については、総務省ホームページ（https://www.soumu.go.jp/）の「報道資料」欄及び消防庁ホームページ（https://www.fdma.go.jp/）に、掲載しています。

【参考資料１】令和６年秋季火災予防運動実施要綱
【参考資料２】住宅火災関係資料
【参考資料３】地震火災を防ぐポイント
【参考資料４】火災予防啓発用リーフレット「住宅防火　いのちを守る　10 のポイント」
【参考資料５】全国統一防火標語ポスター　（一社）日本損害保険協会
【参考資料６】秋季全国火災予防運動ポスター　（一財）日本防火・危機管理促進協会
【参考資料７】リチウムイオン電池の適切な処分について　環境省

【問い合わせ先】
消防庁予防課　川合・泉・高木
ＴＥＬ：03-5253-7523（直通）
E-mail:yobo_atmark_ml.soumu.go.jp

※スパムメール対策のため、「@」を「_atmark_」と表示しております。送信の際には、「@」に変更してください。

参考資料１

令和６年秋季全国火災予防運動実施要綱

１　目的

この運動は、火災が発生しやすい時季を迎えるに当たり、火災予防思想の一層の普及を図り、もって火災の発生を防止し、高齢者を中心とする死者の発生を減少させるとともに、財産の損失を防ぐことを目的とする。

全国の火災の状況をみると、住宅火災の件数は平成 17 年以降減少を続け、令和２年に初めて１万件/年を下回ったものの、令和３年からは再び増加傾向にあり、死者数についても、増加傾向が続いている。

令和６年能登半島地震では、石川県輪島市において、焼損棟数約 240 棟、焼失面積約 49,000 ㎡という大規模な火災が発生した。本火災の教訓を踏まえ、地震火災対策の推進が喫緊の課題となっている。

特に、近年の大規模地震においては、電気に起因する火災が多く発生して いることから、地震時の電気火災リスクを低減するため、感震ブレーカー等 の普及推進を加速する必要がある。

このような状況を踏まえ、下記２及び３の項目を中心として火災対策の推進を図る。

２　重点推進項目

⑴　地震火災対策の推進
⑵　住宅防火対策の推進

３　重点項目

⑴　防火対象物等における防火安全対策の徹底
⑵　製品火災の発生防止に向けた取組みの推進
⑶　多数の者が集合する催しに対する火災予防指導等の徹底
⑷　乾燥時及び強風時の火災発生防止対策の推進
⑸　木造飲食店等が密集する地域に対する火災予防指導等の徹底
⑹　放火火災防止対策の推進

４　防火標語（2024 年度全国統一防火標語）

『守りたい　未来があるから　火の用心』

５　実施期間

令和６年 11 月９日（土）から 11 月 15 日（金）までの７日間

参考資料2

住宅火災関係資料

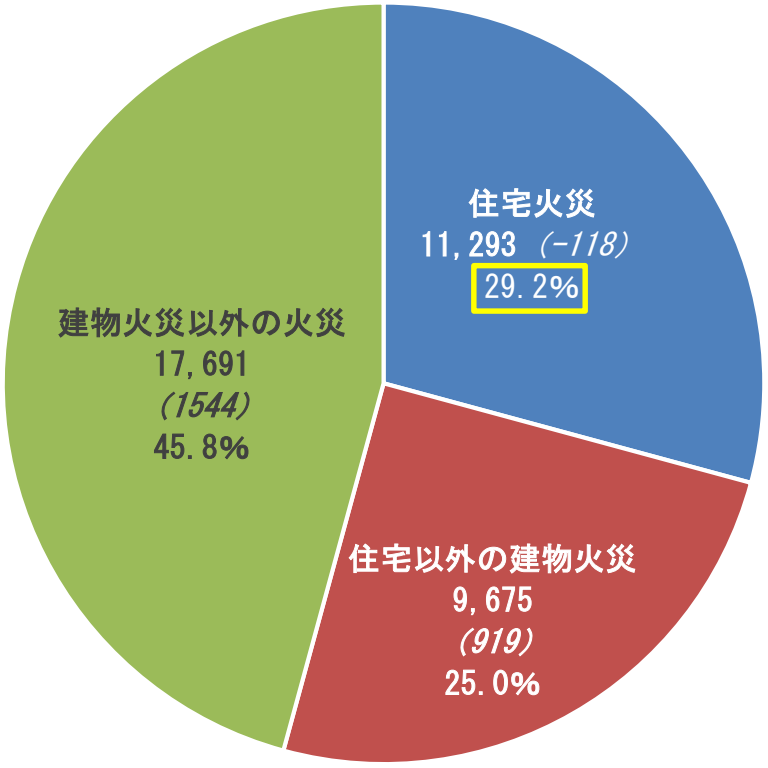
令和5年（1月～12月）の火災の状況（概数値）

●すべての火災件数のうち、住宅火災の件数は約3割（R5：11,293件）。
●すべての火災による死者のうち、住宅火災による死者は約7割（R5：1,074人）。

※令和5年（1～12月）における火災の状況から作成

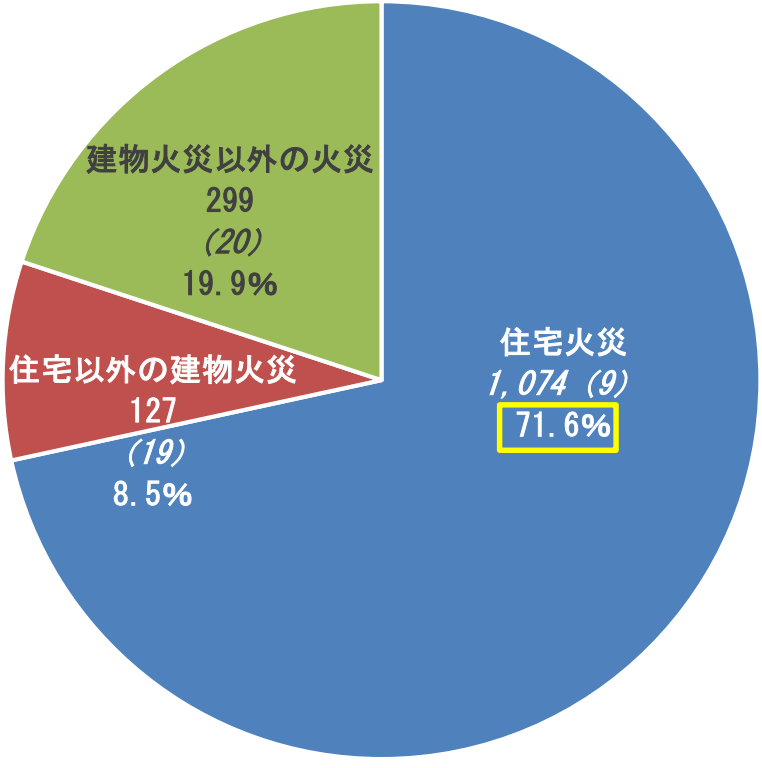
（対前年比）

火災件数　38,659件
（建物火災　20,968件）



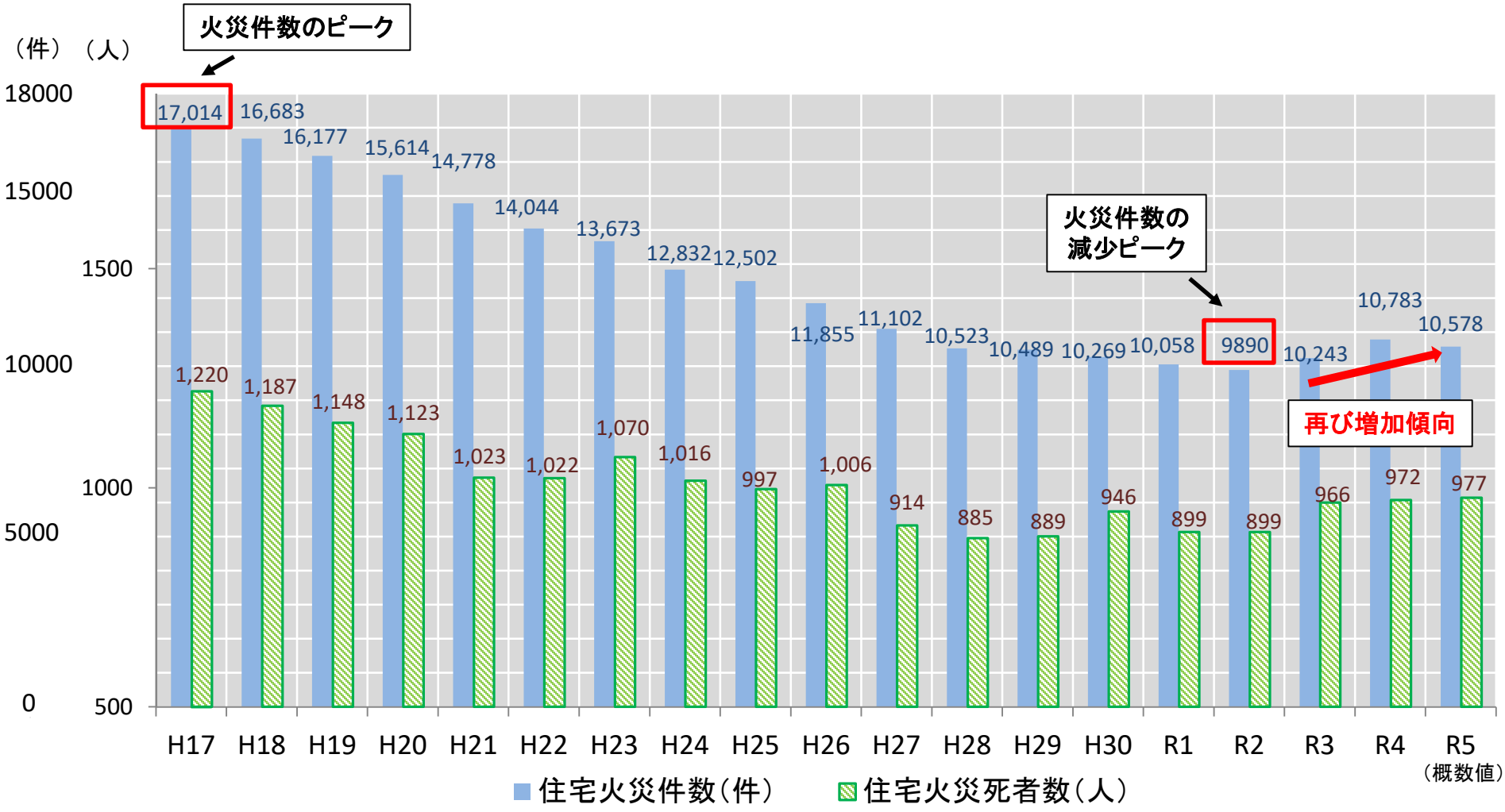
※　放火を含むすべての火災

死者数　1,500人
（建物火災死者数　1,201人）



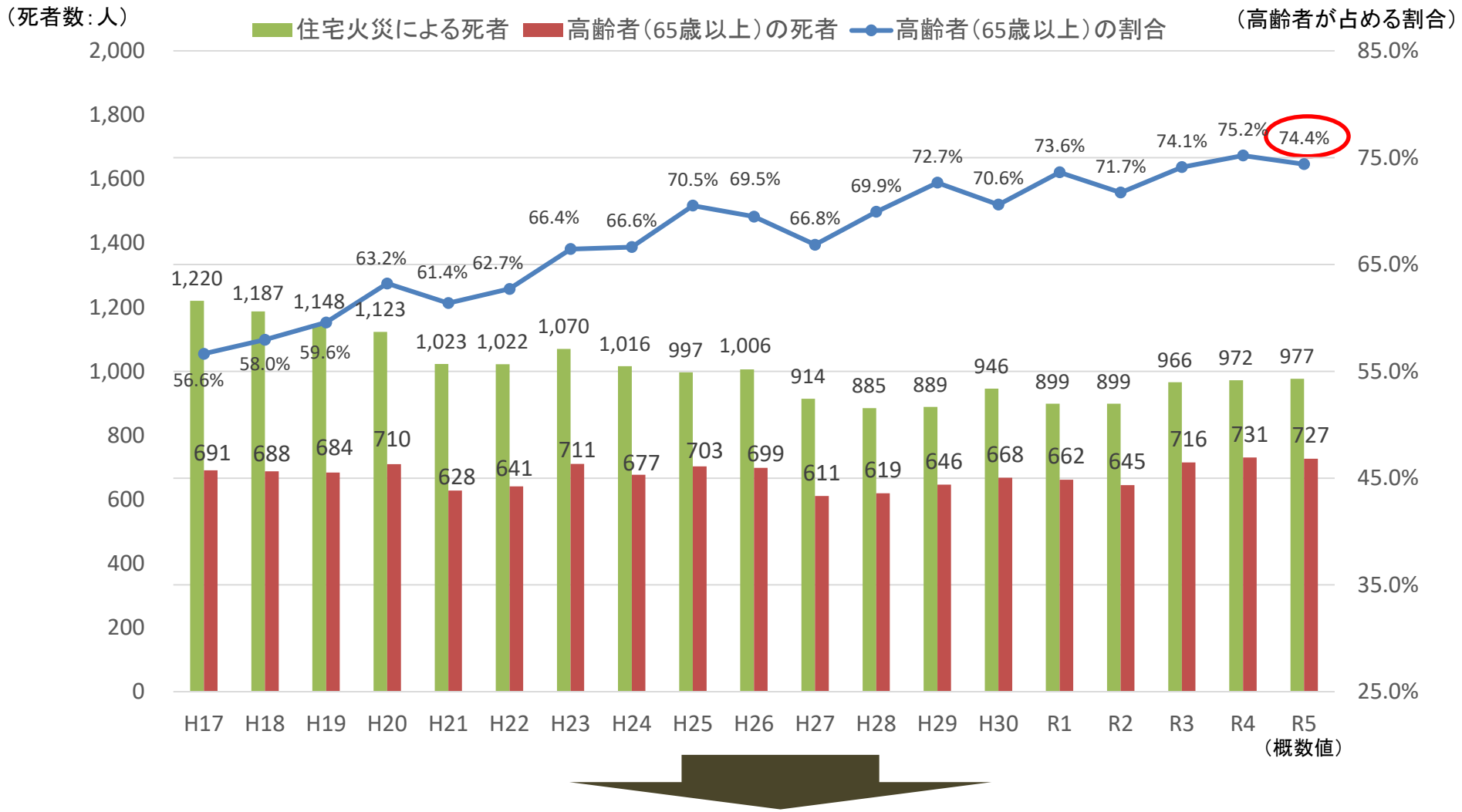
※　放火自殺者等を含むすべての死者

住宅火災と死者の発生状況



- **住宅火災の件数は減少傾向にあったが、令和3年度から増加傾向に転じた。**
- **死者数のピークは平成17年で、放火自殺者等を除いた死者数は、H17：1220人→R4：972人で約20%減であるが、900人を超える高水準で推移。**

住宅火災による死者数の推移 （放火自殺者等を除く）



死者の約8割が65歳以上の高齢者　⇒高齢化の進展を反映して増加傾向

参考資料３

消防署からのお知らせです

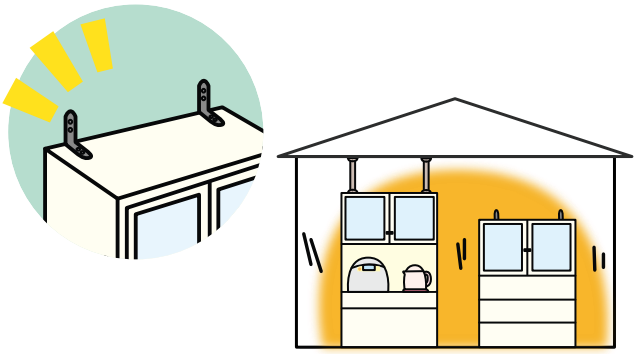
地震火災を防ぐポイント

地震火災対策きちんと出来ていますか？

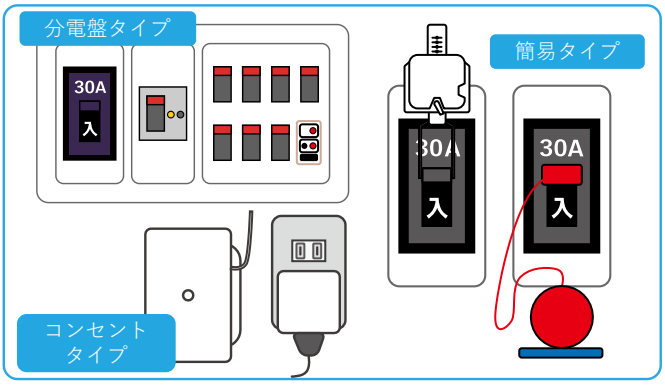
事前の対策

☐ 住まいの耐震性を確保しましょう

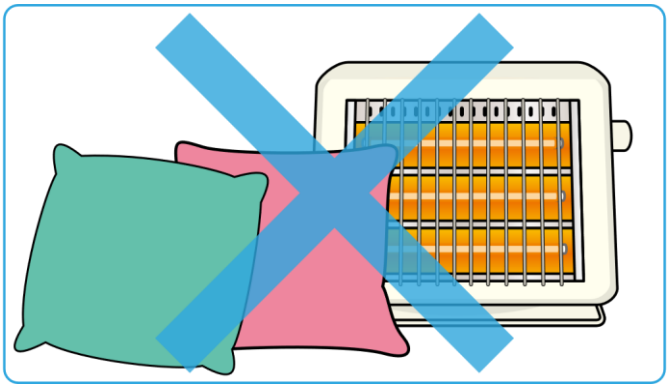
☐ 家具等の転倒防止対策（固定）を行いましょう



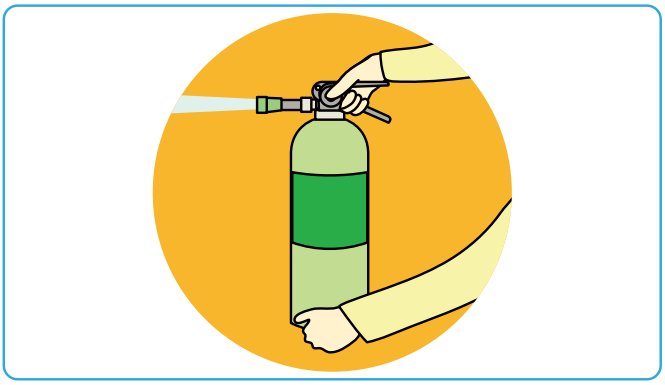
☐ 感震ブレーカーを設置しましょう



☐ ストーブ等の暖房機器の周辺は整理整頓し、可燃物を近くに置かないようにしましょう



☐ 住宅用消火器等を設置し使用方法について確認しましょう

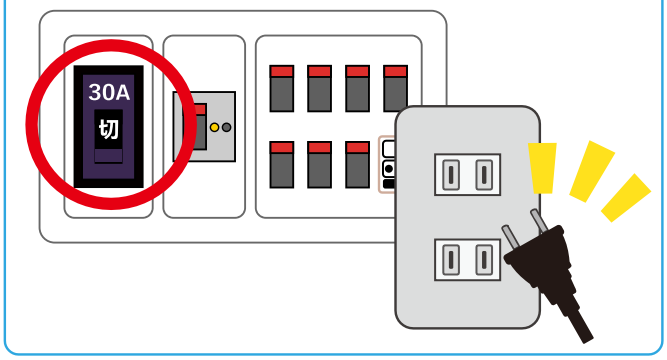


☐ 住宅用火災警報器を設置しましょう

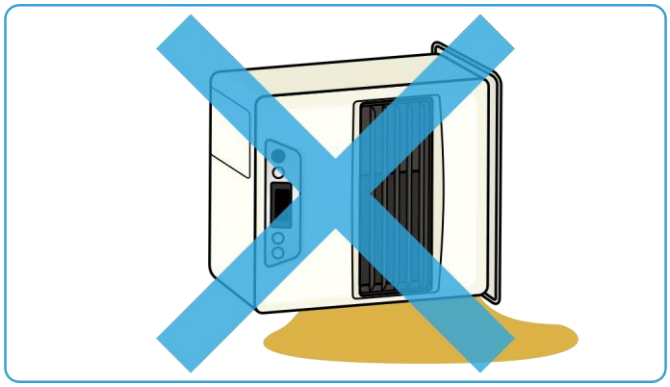
※交換の際は連動型住宅用火災警報器などの付加的な機能を併せ持つ機器へ交換しましょう。
※設置場所については市町村条例で定められています。

地震直後の行動

- [ ] 停電中は電気器具のスイッチを切るとともに、電源プラグをコンセントから抜きましょう
避難するときはブレーカーを落としましょう

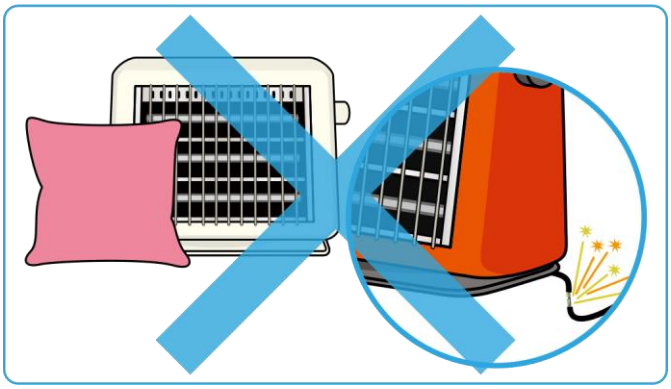


- [ ] 石油ストーブや石油ファンヒーターからの油漏れの有無を確認しましょう

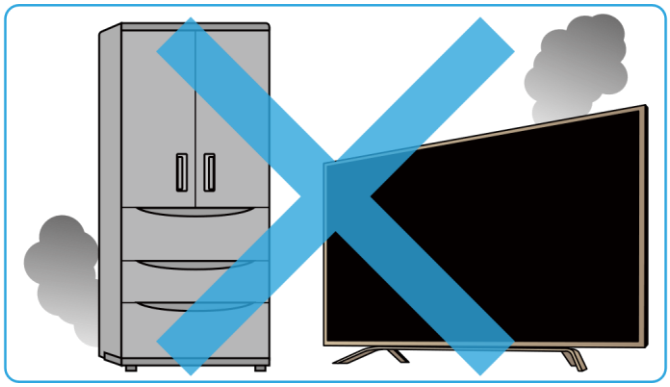


地震発生からしばらくして（電気やガスの復旧、避難からもどったら）

- [ ] ガス機器、電気器具及び石油器具の使用を再開するときは、機器に破損がないこと、近くに燃えやすいものがないことを確認しましょう

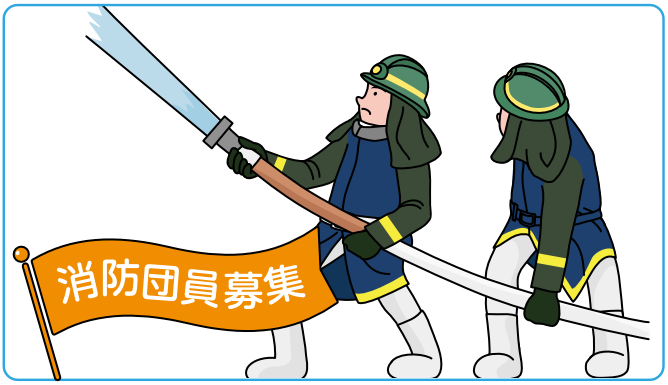


- [ ] 再通電後は、しばらく電気器具に異常がないか注意を払いましょう（煙、におい）



日頃からの対策

- [ ] 消防団や自主防災組織等へ参加しましょう



- [ ] 地域の防災訓練へ参加するなどし、発災時の対応要領の習熟を図りましょう

お問い合わせ先

参考資料４

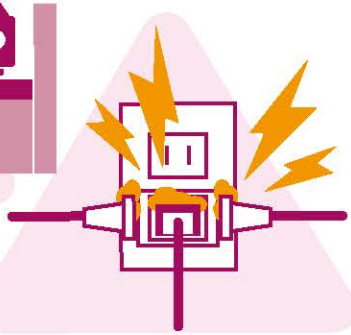
住宅防火 いのちを守る10のポイント

4つの習慣

1 **寝たばこ**は
絶対にしない、
させない

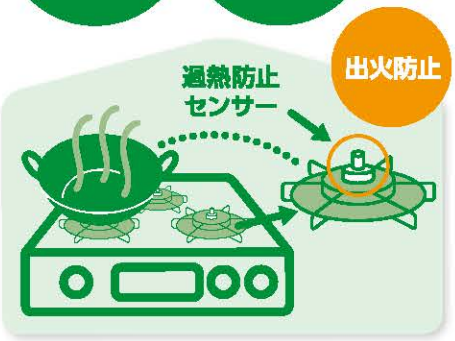
2 **ストーブ**の周りに
燃えやすいものを置かない

3 **こんろ**を使うときは
火のそばを
離れない



4 **コンセント**はほこりを清掃し、
不必要なプラグは抜く

6つの対策

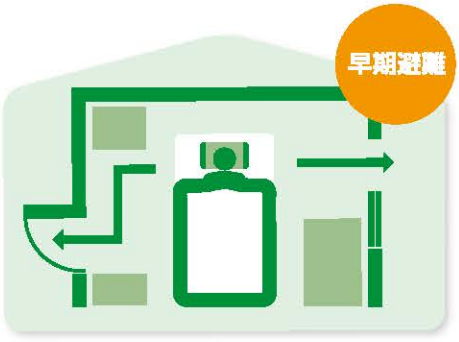


1 火災の発生を防ぐために、
ストーブやこんろ等は
安全装置の付いた機器を使用する

2 火災の早期発見のために、
住宅用火災警報器を定期的に点検し、
10年を目安に交換する

3 火災の拡大を防ぐために、
部屋を整理整頓し、
寝具、衣類及びカーテンは、
防炎品を使用する

4 火災を小さいうちに消すために、
消火器等を設置し、
使い方を確認しておく



5 お年寄りや身体の不自由な人は、
避難経路と避難方法を常に確保し、
備えておく

6 防火防災訓練への参加、
戸別訪問などにより、
地域ぐるみの防火対策を行う

FDMA 住民とともに
消防庁
Fire and Disaster Management Agency
https://www.fdma.go.jp/

お問合せ先

参考資料５

2024年度全国統一防火標語

守りたい
未来があるから
火の用心

山﨑玲奈

日本損害保険協会は、「防火ポスターの作成」や「自治体・離島への軽消防自動車の寄贈」を通じて、全国の防災・防火力強化を図っています。

一般社団法人
日本損害保険協会

防災に関する情報はコチラ

後援：FDMA 住民とともに　総務省消防庁 Fire and Disaster Management Agency

住宅用火災警報器は点検・交換が必要です。

住宅防火のポイントはコチラ

一般社団法人　日本損害保険協会　会員会社（2024年4月1日現在）

あいおいニッセイ同和損保／アイペット損保／アクサダイレクト／アニコム損保／イーデザイン損保／ＡＩＧ損保／エイチ・エス損保／ＳＢＩ損保／ａｕ損保／キャピタル損保／共栄火災／さくら損保／ジェイアイ／セコム損保／セゾン自動車火災／全管協れいわ損保／ソニー損保／損保ジャパン／大同火災／東京海上日動／トーア再保険／日新火災／日本地震／ペット＆ファミリー損保／三井住友海上／三井ダイレクト損保／明治安田損保／楽天損保／レスキュー損保

地震による火災は、火災保険では補償されません。地震保険で備えましょう。

参考資料６

秋の
全国火災
予防運動
11/9~11/15

住宅用火災警報器 交換のおすすめ
10年たったら、
とりカエル。

藤﨑ゆみあ

守りたい未来があるから火の用心

制作：一般財団法人日本防火・危機管理促進協会　後援：総務省消防庁 全国消防長会

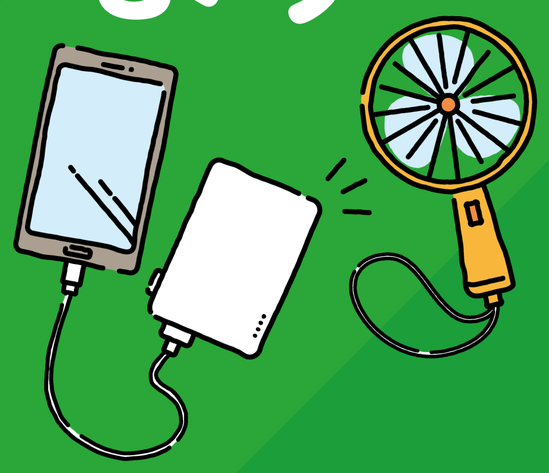
このポスターは、宝くじの社会貢献広報事業として助成を受け作成されたものです。

あなたに夢を。街に元気を。
クーちゃん 宝くじ

参考資料7

リチウム蓄電池※が原因でごみ収集車やごみ処理施設で火災が大量発生しています

※リチウムイオン電池と同義



「リチウム蓄電池の疾走」　真弓 香菜

2023 年度環境省主催『「防ごう！火災！」リチウム蓄電池等に起因する発火事故防止のためのデザイン・イラストコンクール（LiB コン！）』優秀作品

捨て方が分からない…

リチウム蓄電池は、「○○ごみ」に出してください。

詳細はこちら

QR
コード

○○○○県○○○○○○市　○○○○○部○○○○○○課　TEL：XXX-XXXX-XXXX

参考資料7

リチウム蓄電池※が原因で ごみ収集車やごみ処理施設で 火災が大量発生しています

※リチウムイオン電池と同義

「便利でキケンな LiBOT（リボット）」　アートファクトリー玄株式会社

2023 年度環境省主催『「防ごう！火災！」リチウム蓄電池等に起因する
発火事故防止のためのデザイン・イラストコンクール（LiB コン！）』優秀作品

捨て方が分からない…

リチウム蓄電池は、「○○ごみ」に出してください。

○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○
○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○

詳細はこちら

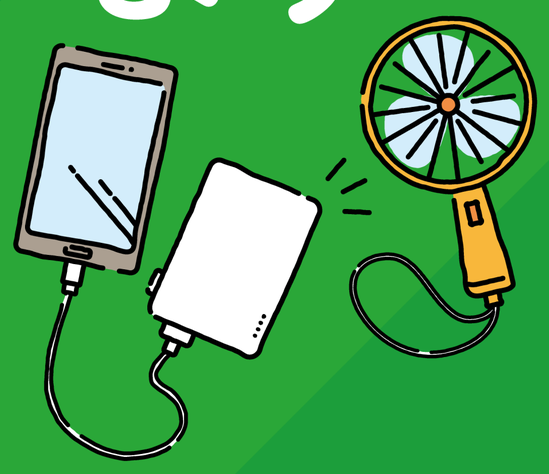
QR
コード

○○○○県○○○○○○市　○○○○○部○○○○○○課　TEL：XXX-XXXX-XXXX

参考資料7

リチウム蓄電池※が原因で ごみ収集車やごみ処理施設で 火災が大量発生しています

※リチウムイオン電池と同義



「たぬも」　鈴木 瑛里子

2023 年度環境省主催『「防ごう！火災！」リチウム蓄電池等に起因する発火事故防止のためのデザイン・イラストコンクール（LiB コン！）』優秀作品

捨て方が分からない…

リチウム蓄電池は、「○○ごみ」に出してください。

詳細はこちら

QR コード

○○○○県○○○○○○市　○○○○○部○○○○○○課　TEL：XXX-XXXX-XXXX